

令和4年度みどりの食料システム戦略推進交付金のうちグリーンな栽培体系への転換サポート

産地戦略

事業実施主体名： 福島県会津農林事務所農業振興普及部

都道府県名： 福島県 対象品目： 水稻

策定年月： 令和5年2月 目標年次： 令和9年

※事業実施計画における目標年度の翌年度から5年目とする。

環境負荷軽減の取組

	化学農薬の使用量低減		化学肥料の使用量低減		有機農業の取組面積拡大	○	温室効果ガスの削減 (水田からのメタンの発生抑制)
	温室効果ガスの削減 (バイオ炭の利用)		温室効果ガスの削減 (石油由来資材からの転換)		温室効果ガスの削減 (プラスチック被覆肥料対策)		温室効果ガスの削減 (CO2、N2Oの排出削減)

第1 事業実施地域の現状と目指すべき姿

1 事業実施地域

福島県磐梯町全域

※事業実施計画書第1の4の事業実施地域を記載。

2 事業実施地域の現状

磐梯町は平成30年より地域農業振興と農産物競争力強化を図るため、「磐梯町農産物ブランド化推進会議」を設立し、有機・特別栽培を基本とした「磐梯さとやまの慧み」ブランドを立ち上げた。今後、町内に広く当ブランドを普及するためには、スマート農業技術等の省力化技術が不可欠である。

※1の事業実施地域の現状について、実施しようとしている環境負荷軽減の取組の実施状況等、課題と認識している点について具体的に記載。

3 事業実施地域の目指すべき姿

当事業で検証した結果やこれに基づいたマニュアル・栽培暦を作成し、広く周知し、水稻の「磐梯さとやまの慧み」新規取組者を増やすとともに個々の面積拡大により農家の所得向上を目指す。また、「環境保全型農業」に積極的に取り組む町のイメージアップを図る。

※事業実施地域内へのグリーンな栽培体系の普及により、2に記載した課題がどう改善され、どのような姿になるのかを具体的に記載。

第2 グリーンな栽培体系の普及に向けた取組

1 今後普及すべきグリーンな栽培体系

ア 取り入れる技術

	取り入れる技術	期待される効果
環境にやさしい栽培技術	・秋耕の実施	・秋表面施用+春鋤込みと比較し、秋耕を実施することで、43%のメタン発生量の削減が期待される。
省力化技術	・自動水管理システム ・リモコン草刈機	・自動水管理システムを導入することで慣行の水管理作業に比較して56%の労力軽減が期待される。 ・リモコン草刈機を導入することで、刈払機による畦畔管理に比較し、50%の労力が削減が期待される。

※環境にやさしい栽培技術欄には、表紙で選択した環境負荷軽減の取組に対応する技術を記載。

※省力化技術欄について、環境にやさしい栽培技術欄に記載した技術と同一技術の場合は再掲する。

※期待される効果は、検証結果、計画書に添付したバックデータ等を踏まえて、可能な範囲で定量的に記載する。

※行は適宜追加してください。

イ 現在の栽培体系

項目	作業時期												備考																											
	4月			5月			6月			7月				8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
作業段階			耕起	移植	水管理 畦畔管理												収穫																							
技術																																								



ウ グリーンな栽培体系

項目	作業時期												備考																																
	4月			5月			6月			7月				8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月										
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
作業段階			耕起	移植	水管理 畦畔管理												収穫	秋耕																											
技術					自動水管理システム													ロボ ロス																											

※アで記載した「環境にやさしい栽培技術」及び「省力化技術」が、栽培体系のどの工程に取り入れられるのが明確に記載。

2 新たな栽培体系の普及に向けた目標

ア 環境負荷軽減の目標

指標		年度	R4 (現状値)	R9 (目標値)	増減率 (%)	備考
1	秋耕起の実施面積		0.89	8	799%	現状値はR4検証実施面積 (スタブルカルチ施行面積)
	単位	ha				

イ 省力化目標

指標		年度	R4 (現状値)	R9 (目標年次)	増減率 (%)	備考
1	水管理に係る作業時間		52	23	▲56%	現状値：検証農家の作業日誌より (水位センサーによる水管理) 作業日誌により確認
	単位	分/10a				
2	畦畔草刈作業時間		28	14	▲50%	現状値：農家聞き取り (リモコン草刈機) 作業日誌により確認
	単位	分/a				

ウ 普及を目指す面積

(単位：ha)

年度	R4 (現状値)	R9 (目標値)	増減率 (%)	備考
指標				
対象品目全体の作付面積	310	290	▲6%	
うち、グリーンな栽培体系に取り組む面積	0	8	-	
普及割合	0%	3%		

グリーンな栽培体系に取り組む面積は下記①～④をすべて満たすものとする。

- ①「磐梯さとやまの慧み」
- ②自動水管理システムを導入する（水位計のみでもカウントする）
- ③リモコン草刈機を導入し、畦畔管理に活用する
- ④秋耕を実施する（降雪前、作業機の種類は問わない）

第3 関係者の役割分担及び取組内容

構 成 員	役割分担及び取組内容				
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (目標年次)
福島県 (会津農林事務所 農業振興普及部)	・マニュアルの周知、改訂 ・現地検討会の開催（1回）	・マニュアルの周知、改訂 ・現地検討会の開催（1回）	・マニュアルの周知、改訂 ・現地検討会の開催（1回）	・マニュアルの周知、改訂 ・現地検討会の開催（1回）	・マニュアルの周知、改訂 ・現地検討会の開催（1回）
磐梯町農産物 ブランド化推進会議	・ブランド化取組者に対する 推進 ・販促動画、シール等の作成 検討	・ブランド化取組者に対する 推進 ・販促資料による取組周知	・ブランド化取組者に対する 推進 ・販促資料による取組周知	・ブランド化取組者に対する 推進 ・販促資料による取組周知	・ブランド化取組者に対する 推進 ・販促資料による取組周知
磐梯町	・認定農業者等へのチラシに よる周知	・認定農業者等へのチラシに よる周知	・認定農業者等へのチラシに よる周知	・認定農業者等へのチラシに よる周知	・認定農業者等へのチラシに よる周知
会津よつば 農業協同組合	・水稲指導会等における推進 チラシ等の配布	・水稲指導会等における推進 チラシ等の配布	・水稲指導会等における推進 チラシ等の配布	・水稲指導会等における推進 チラシ等の配布	・水稲指導会等における推進 チラシ等の配布